

## 本マニュアルについて

- メールホスティングサービスの利用者が、メールホスティングサービスで使用するドメインでThunderbirdからメールを送受信する際のポイントを記載したものです。
  - 本マニュアルでは一例として、“gm.ecc.u-tokyo.ac.jp”のドメインでメールを送受信する場合の設定例を記載しています。
- まず、“エイリアスの確認”の項目にて、ECCSクラウドメールにメールホスティングサービスで使用するドメインが、エイリアスとして紐づけられているかご確認ください。次に、“Thunderbirdでのメール閲覧・メール送信のポイント”の項目をお読みください。
- もし設定がうまくいかない場合は、ドメインの申請者、または管理担当者までお問い合わせください。
- Thunderbirdを含む個々のメールソフトの使い方について、情報基盤センターメールホスティング担当にお問い合わせいただいても、サポートしていないため回答いたしかねます。あくまで、参考としてお読みください。

## エイリアスの確認

GoogleのログインインタフェースよりECCSクラウドメール(@g.ecc.u-tokyo.ac.jp)のアカウントでログイン後、[アカウント]>[個人情報]>[連絡先情報・メール]を選択すると、予備のメールアドレスの欄が表示されますので、メールホスティングサービスで使用するドメインのメールアドレスが存在するか、確認してください。

※ECCSクラウドメールのログイン方法について、詳しくは以下のURLを参照ください。

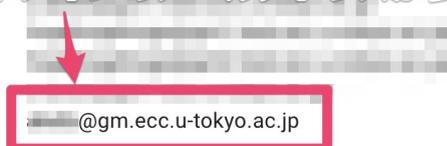
- ・ ECCSクラウドメール利用方法 - 初期設定等 -

[https://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/announcement/2016/04/01\\_2159.html](https://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/announcement/2016/04/01_2159.html)



予備のメールアドレス

予備のメールアドレスに  
ドメインのメールアドレスが表示される



アカウントへのログインに使用できる他のメールアドレスです。アカウントにアクセスできなくなった場合の連絡手段として使用されることもあります。

## 【Gmail側の設定その1】 ドメインのアドレスでの送信を許可する

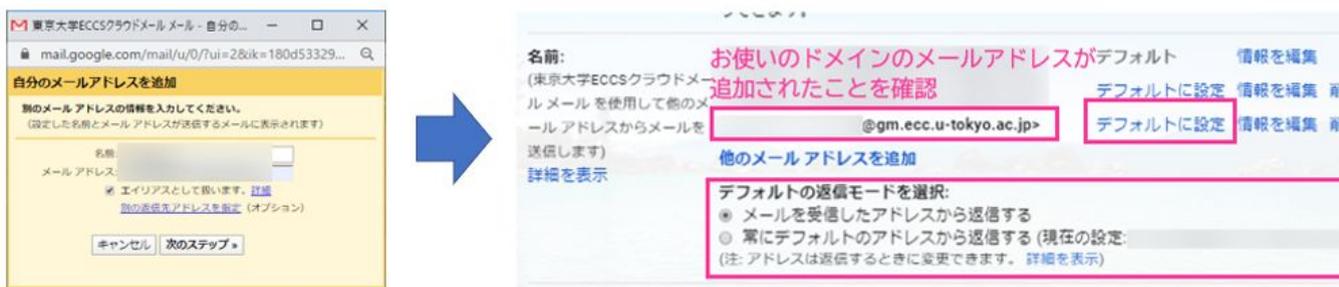
1. ECCS クラウドメールにログインし、Gmailの画面を表示してください。既にログインしている場合は、以下の画像のように、GoogleのアイコンメニューからGmailの画面に遷移することも可能です。画面右上の歯車のマークから、[設定]をクリックします。



2. [アカウント]>[名前] より、“他のメールアドレスを追加”のリンクをクリックしてください。



3. “自分のメールアドレスを追加”のダイアログが表示されるので名前欄に任意のメールアドレスの表示名を、メールアドレス欄にお使いのドメインのメールアドレス（例：XXXX@gm.ecc.u-tokyo.ac.jp）を入力し、“次のステップ”ボタンをクリックしてください。[名前]の項目に、メールアドレスが追加されます。この設定をすることで、お使いのドメインのメールアドレスをメールのFromに指定し、メールを送信できるようになりました。【補足】”デフォルトに設定”をクリックすることで、Gmailからメール送信する際に返信するアドレスを指定できます。また、デフォルトの返信モードを設定することで、メールを受信したアドレスから返信することも可能です。



## 【Gmail側の設定その2】メーラーでのメール送受信を許可する

1. Gmailの設定メニューから、“メール転送とPOP/IMAP”を選択してください。
2. “IMAPアクセス”欄の“IMAPを有効にする”を選択し、変更を保存ボタンをクリックしてください。この設定を行うことで、メーラーにてお使いのドメインのメールアドレス（例：**××××@gm.ecc.u-tokyo.ac.jp**）のメールの送受信ができるようになりました。

設定

全般 ラベル 受信トレイ アカウントとインポート フィルタとブロック中のアドレス **メール転送とPOP/IMAP** アドオン チャット 詳細 オフライン テーマ

転送:

ヒント: フィルタを作成し、特定のメールだけを転送することもできます。

POPダウンロード:

1. ステータス: POP 無効  
 すべてのメールでPOPを有効にする  
 今後受信するメールでPOPを有効にする

2. POPでメールにアクセスする場合 [Gmailのメールを受信トレイに残す]

3. メールクライアントの設定 (例: Outlook, Eudora, Netscape Mail)  
[設定手順](#)

IMAPアクセス:

ステータス: IMAP 無効  
 IMAPを有効にする  
 IMAPを無効にする

IMAPのメールを削除するようマークを付けた場合:  
 自動消去をオン・直ちにサーバーを更新する (デフォルト)  
 自動消去をオフ・クライアント側でサーバーを更新するのを待機する

隠蔽に表示されたIMAPフォルダからメールを削除/消去するようマークを付けた場合:  
 メールをアーカイブする (デフォルト)  
 メッセージをゴミ箱に移動  
 メールを今すぐ完全に削除する

フォルダサイズの制限  
 IMAPフォルダのメールの数を制限しない (デフォルト)  
 IMAPフォルダ内のメッセージ数をこの件数に制限する [1,000]

メールクライアントの設定 (例: Outlook, Thunderbird, iPhone)  
[設定手順](#)

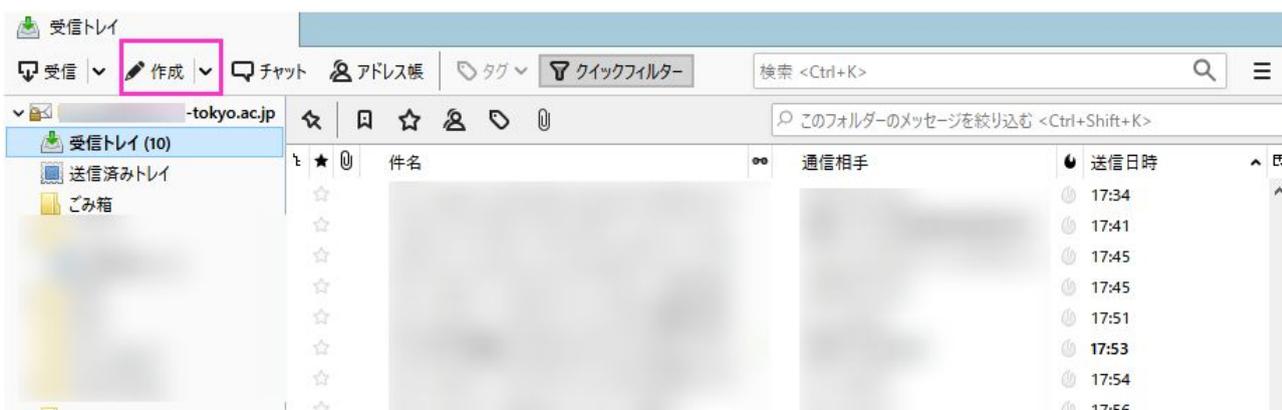
## Thunderbirdの設定とメールの送受信

1. Thunderbirdをインストール後、起動してください。
2. ローカルフォルダ>アカウントのセットアップ>メールをクリックしてください。クリックすると、既存アカウントのメールセットアップのダイアログが表示されます。入力欄に以下の情報を入力し、入力後、“続ける”ボタンをクリックしてください。
  - ・あなたのお名前：メール送信時に送信者名として送信先に表示される名前
  - ・メールアドレス：お使いのドメインのメールアドレス  
(例) **××××@gm.ecc.u-tokyo.ac.jp**
  - ・パスワード：ECCSクラウドメールのパスワード

3. しばらくすると、以下のような画面が表示されます。IMAPを選択し、“完了”ボタンをクリックしてください。



4. メールを閲覧することができるようになります。メールを作成する場合は、メニューの”作成”をクリックしてください。



5. 差出人の欄にはお使いのドメインのメールアドレス（例：××××@gm.ecc.u-tokyo.ac.jp）が設定された状態になります。宛先や件名、本文などを入力後、“送信”をクリックしてください。メールが送信されます。

